

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

第29回子供禅の集い
日程が下記予定表の通り
決定いたしました。宜しく
お願い申し上げます。
対象：小学校3年～6年生

大般若会・花まつり報告



当寺恒例の大般若会兼大施食会法要が3月14日に、花まつりが4月8日にそれぞれ執り行われました。

本年は特に大般若会及び大施食会法要では、曹洞宗群馬県宗務所梅花部長であります高崎市大雲寺御住職仁科清信老師によります梅花法話も賜り、見えられた方々も梅花流詠讃歌に親しむ時間を持つ事が出来たものと思われま。当寺梅花講の講員さんと一緒に御詠歌をお唱えし、同式

↑4月10日付 上毛新聞より

にも詠讃歌を通しご参加をしていただきました。

多数の善男善女の皆様方のご参加を賜り、本年も盛会裡に無事修行することが出来ました。総代さん役員さん講員さん始めお手伝い下さいました関係者各位には厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

総代人交代報告

3月14日の大般若会の席で、新旧の総代人さんの交代がございました。宮澤二三夫総代人が退任し、後任として堀越兼一氏が総代人に就任されました。総代長・井上正俊氏のもと、下記の通りの総代人さん諸氏が寺院の護持運営にご尽力頂いております。宜しくお願い申し上げます。なお、宮澤前総代人氏に於かれましては、去る6月に、87年を一期として、ご逝去されました。茲にご冥福を祈念申し上げます。合掌。

仁叟寺総代人(敬称略)

井上正俊	金子 明	篠崎和男
関口益雄	春山 繁	矢島正義
新井徳衛	森 久	堀越兼一

平成22年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/14大般若会大施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18～3/24 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13～7/16 京浜地区檀信徒棚経
- 7/21～7/22 第29回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- 11/3 檀信徒参拝研修旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室
- ※宗務所執務日は月水金曜

特派梅花布教講習会が行われました



↑ 曹洞宗群馬県宗務所主催梅花流特派師範巡回講習会風景（会場・仁叟寺）

去る6月9日に当寺にて梅花流特派布教講習会が開催されました。講員さんはもとより近隣の住職さん、寺族さんはじめ関係者約120名もの方々が集い梅花流の講習を受けておりました。

同講習会は、副住職が梅花主事として奉職しております曹洞宗群馬県宗務所主催行事で、毎年県内6ヶ所を巡回します。仁叟寺で開催されました講習会は、高崎藤岡安中地区の合同講習会です。今年は、三重県伊賀市來迎寺御住職の辻村京俊特派師範老師が県内を廻り、梅花流の布教教化にご尽力賜りました。参加された方にも非常に好評であり、実りある講習会をお勤めいただきましたこと、ありがたく思っております。

仁叟寺探索-24- 「小梵鐘及び鐘楼堂」



↑ 文殊堂下にある小梵鐘と鐘楼堂

今回の探索では、境内の文殊堂舞台下にある小梵鐘とその鐘楼堂を紹介いたします。

この堂宇は平成13年（2001）6月に完成いたしました。除夜会等で梵鐘を撞けない方や、参拝に見えられた際に自由に撞ける鐘があればとの声を受け建立。小梵鐘は、宮澤二三夫氏の寄進。堂宇は、小林眞三郎、昭二両氏による寄進により、長根の上原建築株式会社により施工されました。

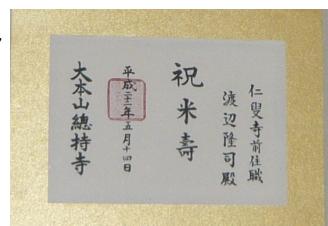
なお、去る本年6月に小梵鐘の施主であります宮澤氏が逝去されました。前総代人を務め菩提寺にも尽力賜りました。ご冥福を祈念申し上げます。

祝、仁叟寺東堂米寿に

御本山から頂戴した絡子↓

当寺前住職であり東堂の渡辺隆司大和尚が、88歳の米寿を迎えられました。大本山總持寺より記念の絡子も頂戴いたしました。

東堂老師は、大正13年に誕生。龍源寺住職等を経て仁叟寺三十世住職となり、住職勤続五十周年となった平成10年に退董し、東堂となりました。その間、群馬県宗務所長や群馬県總和会支部長等、宗門の要職の他、町の教育委員長を始めとする町政にも寄与いたしました。現在は趣味の園芸始め文字通り晴耕雨読の生活を元気に送っております。



しょうくろう きんこうかく

本堂鐘鼓楼及び欣光閣（入口玄関）改修工事

当寺本堂西側に鐘鼓楼を新添し、太鼓・木版・半鐘等を安置しました。また、檀信徒会館「欣光閣」玄関の改修工事も併せて今春に行われました。施工は本堂玄関等も担当した宮大工・堂宮入秀社寺建築株式会社に依頼。鐘鼓楼及び玄関共に総樺張り。匠の技が光る同改修工事。

ご参詣の折でも、ご覧いただければと思います。



↑ 欣光閣入口玄関

→ 本堂鐘鼓楼



カヤの木、枯れ枝打ち作業

群馬県指定天然記念物の仁叟寺のカヤの木。樹医に診てもらい、大がかりな回復手術を施してから20年近くが経過しました。お陰様で、新しい枝から葉が生え、実を付ける程にも。今回は、その新しい枝打ち作業を行いました報告をさせていただきます。まだ幹に新しい枝を支える力がない場合もあり、その際に枝が枯れ、落下する事もありま

← す。その為、当寺にてその枯れ枝の除去作業を行いました。

作業風景 開山直翁斎正大和尚お手植えのカヤの木であり、樹齢500年以上経過し、天狗の宿り木、火防のご神木とも知られております。当寺としても後世に伝えるべく、しっかりと維持管理を行っております。



住職が龍源寺本尊修復法要導師を修行

副住職が住職を勤める龍源寺の御本尊様・釈迦如来像始め五体の諸菩薩像が修復を施され帰山いたしました。去る4月29日の大施食会及び蚕影山例祭に合わせて、御本寺仁叟寺御住職渡辺啓司老師御導師の下、改めて開眼供養を参列された皆様方と勤める事が出来ました。

また、式に併せ蚕影山縁起碑の除幕式法要も行われ、こちらは群馬県宗務所長松本泰恵老師が導師を勤められました。蚕影山縁起碑は、繭型の御影石製で多胡石材産業(株)により施工。地元上毛新聞にも記事として紹介されました。

なお、式の差定（式次第）は下記の通りです。

本尊仏像及び開基位牌開眼會併修蚕影山例祭法會差定
 三會上殿 三寶御和讃奉詠にてお迎え 七下鐘導師上殿 拈香法語 点眼（本尊他仏像五体、開基牌、東司浴司牌） 献湯菓茶普同三拜 般若心經 消災妙吉祥陀羅尼（導師理趣分轉翻了而歸位まで） 像塔開眼會回向 普同三拜 謝拜 散堂 聖號奉詠にてお見送り



開眼會法要風景（導師仁叟寺住職）↑

→ 蚕影山縁起碑



ダライ・ラマ14世法王講演会（於、大本山總持寺）



ダライ・ラマ14世法王

去る6月27日（日）に、チベットのダライ・ラマ法王が曹洞宗大本山總持寺に見えられ、御講演を賜りました。大本山總持寺は東堂・住職・副住職が、それぞれ安居修行をさせていただきました曹洞宗の大本山様で神奈川県横浜市鶴見区鶴見にございます。

ご縁がありまして、同講演会の撮影係を副住職が拝命。友人の撮影スタッフと共に会に参加して参りました。講演会の様子はDVDに焼かせていただき、後ほど希望者に頒布させていただければと思っております。御希望する方は、当寺まで御一報いただければありがたく存じます。

なお、ダライ・ラマ法王につきましては、以下御紹介をさせていただきます。ありがたいご縁に触れる事が出来ました。関係者各位に改めまして感謝申し上げます次第です。



①ダライ・ラマ14世（1935年7月6日（チベット暦5月6日）～在位1940年～）



チベット旗「雪山獅子旗」

※1912年制定・日本人学

チベット民族のあいだで尊敬されている宗教指導者であり、チベット仏教のほかの教派を超えて大きな影響力を持つ。また、チベット仏教のゲルク派の最高位の仏教博士号（ゲシェ・ランパ）を持つ僧侶でもある。チベット仏教の全宗派の伝統の教えを継承し研鑽を積んでおり、教え・実践両面のすべての領域における最高の権威者（チューキ・ゲポ；法王）として広く認められている。

ガンデンポタン（チベット亡命政府）の長としてだけでなくチベット仏教の指導者としても、アメリカ、ヨーロッパ諸国、日本を始めとする世界各地をたびたび訪れ、仏教の智慧に関する講演、宗教的な対話に関する講演も活発に行っている。1989年には、世界平和やチベット宗教・文化の普及に対する貢献が高く評価され、ノーベル平和賞を受賞した。ノーベル平和賞の受賞に対しても中華人民共和国政府は完全無視を決め込んだだけでなく、関連図書を持ち込めたり所持さえも禁止している。

チベットは、第二次世界大戦後に中華人民共和国政府に武力制圧され、現在に至っている。平和裏に解決を図るダライ・ラマ14世も結局はインドに亡命を余儀なくされている。チベット仏教の弾圧や人権侵害事案も多数報告されている。日本とも関係の深いチベットの自主独立を仏教的背景に基づく平和的な方法によって解決が求められている。

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

早いもので、仁叟寺報『山雲水月』も第29号となりました。龍源寺住職を拝命いたしました平成14年正月から刊行させていただいております。新聞記者として奉職しておりました経験を活かせないものかと思ひ続けさせていただいております。

さて、今回は住職地の龍源寺にて先般修行されました本尊様修復事業及び蚕影山縁起碑除幕等、臨時法要のご報告をさせていただきました。350年振りに修復が施された御本尊様はじめ諸仏像も見違える程綺麗になりました。檀信徒始め関係者各位に、改めまして厚く感謝申し上げます。合掌。

